取扱説明書

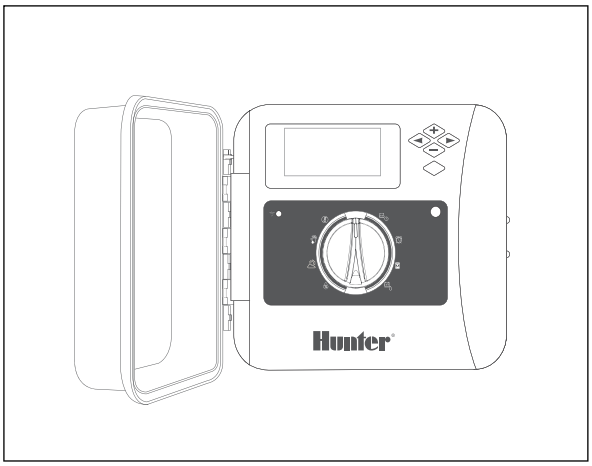
No.C10-01-10

グローベン株式会社

C10SRC04／C10SRC07／C10SRC10
C10SRC13／C10SRC16

プロCコントローラーシリーズ

この度はプロCコントローラーをご購入頂きありがとうございます。
ご使用の前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。



目次

1:ご使用の前に
2:各部の名称
3:取り付け
4:操作方法
5:よくあるQ&A

⚠ センサー接続位置が変更しています

旧仕様とはセンサー端子の接続位置が変更されています。旧仕様から液晶パネルのみ交換した場合など、P.11を参考に接続位置を変更して下さい。

日常ご使用して頂くお客様へ

機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。
万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、
設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いか、
散水箇所の植栽等に大きな変化は無いか必ず日常点検を実施して下さい。

取付工事担当者様へ

- 本製品の設置の際には「防水コンセントプラグ」を別途ご用意下さい。
- 9Vアルカリ電池（別途）があれば、AC100V電源が無くても設定可能です。
- 説明書と巻末の製品保証書は、必要事項を記入の上、工事完了後は必ず管理者様、施主様（日常操作可能な方）にお渡し下さい。

お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

庭にもっと快適を

グローベン

グローベン株式会社
〒455-0025　名古屋市港区本星崎町字南3998-31
TEL:052-829-0800　FAX:052-829-0801
Email info@globen.co.jp

コントローラー設置日：　　年　　月　　日

24.04

1. ご使用の前に

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。

警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

・本製品は自動散水制御専用の機器です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。
・停電による停止や誤作動などの原因で、使用製品以外に深刻な損害の出る事があります。
必ず日常点検を行い、停電による停止や誤作動がないか確認して下さい。

注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

・散水機器の使用は上水道もしくは、清水を必ず使用して下さい、井戸水、雨水などの場合には十分にろ過を行ってから使用して下さい。ろ過が不十分の場合には機器の動作不良の原因になります。
・散水機器を使用しての薬剤散布は行わないで下さい。
・散水機器のフィルター、本体の汚れは必要に応じて水で洗浄して下さい。溶剤、薬品は使用しないで下さい。
・凍結時、または凍結が予想される場合には使用しないで下さい。
・電磁弁、センサーは当社指定の物をご使用下さい。
・グローベン自動散水システムはスプリンクラー、ドリップチューブなどの散水機器に適した範囲の水圧でご使用下さい。水圧が基準範囲外の場合散水が機能しなかったり、機器が破損する場合があります。下記をご参照下さい。

使用水圧	ドリップチューブ、簡易ポイントタイプ：150～300kPa 小・中規模スプリンクラー：200～350kPa、大規模スプリンクラー：300～600kPa

・グローベン自動散水システムは散水を補助するものです。使用中に植物等に被害が生じても、当社は責任を負いかねますので予めご了承頂く様お願い申し上げます。
・設置の際には以下の場所を避けて下さい。機器が誤作動する場合があります。
■高周波ノイズ・電界・磁界の強い場所
■振動や衝撃の発生する場所
■湿気や粉塵、腐食性ガス（アンモニア、亜硫酸等）のある場所
・コントローラー設定後は必ずカバーを閉めて、施錠をして下さい。カバーが空いた状態で雨水などが侵入するとコントローラーが故障する恐れがあります。

製品保証について

本製品の製品保証については、巻末の保証規定をご参照下さい。

施工の際に注意して頂きたいこと

※8ページもあわせて、ご参照下さい。

・ＡＣ１００Ｖ用のコンセントプラグ、ケーブル類は付属しておりません。
お手数ですが、別途ご用意下さい。
・設置の際には他の電化製品から５m以上離して下さい。
コントローラーが誤作動する恐れがあります。
・本コントローラーは家屋の壁面に設置することを前提に設計されており、
完全な防水機能は備わっておりませんので、屋根、軒下など雨除けの
ある箇所に取付下さい。
・庭、花壇など屋根が無い場所に設置する場合には、市販の配電盤
ＢＯＸなどを別途ご用意下さい。弊社でも取り扱っておりますので、
必要の場合にはご相談下さい。
・電磁弁、センサーは当社指定のものをご使用下さい。

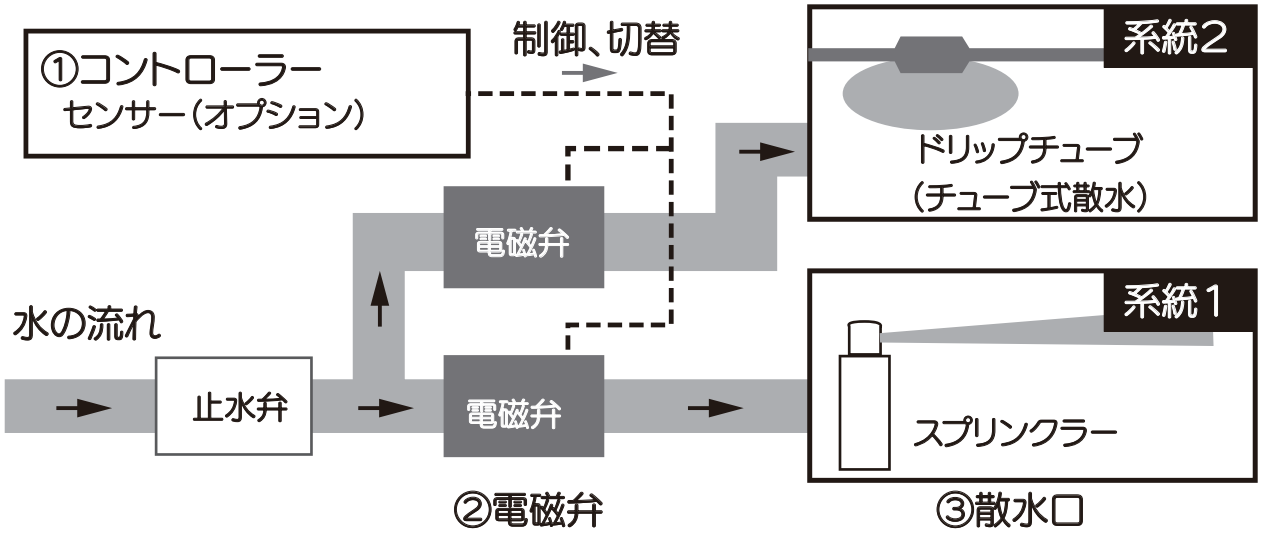
2. 商品仕様

サイズ（mm）	H226×W251×D109（外寸法）
重量（g）	約2.2kg【C10SRC04】
電力（稼動用）	ＡＣ１００Ｖ　５０Ｈｚ／６０Ｈｚ
電力（散水時刻設定用）	9Vアルカリ電池（別途）
電力（時刻維持用）	CR2032リチウム電池（付属）
トランス出力	ＡＣ２４Ｖ　１．００Ａ
ステーション出力	２４ＶＡＣ　０．５６Ａ
最大出力	２４ＶＡＣ　１．００Ａ
電池寿命（AC電源の供給がある時）	約１年
電池寿命（AC電源の供給が無い時）	約１００時間
散水設定時間	１分～６時間まで（分刻み）
散水設定回数	１日１回～最大１２回（PRG使用時）
散水スケジュール	７日カレンダー
制御可能系統（電磁弁）数	C10SRC04：4系統／C10SRC07：7系統 C10SRC10：10系統／C10SRC13：13系統 C10SRC16：16系統

コントローラーは常時電源使用しますので絶えず通電するようにして下さい。ＡＣ１００Ｖ電源の供給が無い場合、停電時に時刻や設定時間がずれる可能性がありますので、ご注意下さい。

自動散水の仕組み

2系統で散水する場合のフローチャート



①コントローラー センサー(オプション)	散水の開始時間や散水時間の制御を行います。
	センサー：作動時の制御を行います。
②電磁弁	給水管の開け閉めを行います。 電磁弁数＝系統数
③散水口	ドリップチューブ：低木・花壇などに最適です。
	スプリンクラー：芝生・苔類などに最適です。

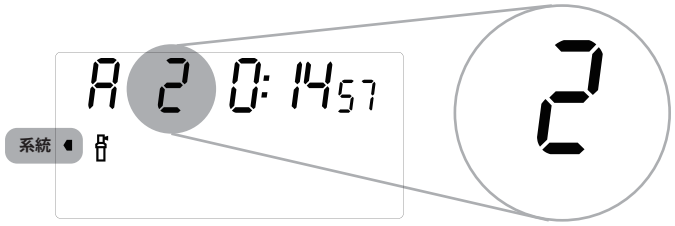
※プロCコントローラーで自動散水するには専用の電磁弁が別途必要になります。

自動散水の系統分けについて

水を撒く範囲が広い場合やスプリンクラー式、チューブ式など異なる散水方式を
一つのコントローラで併用する場合は、電磁弁を複数使って系統分けして、
範囲を区切って順番に水をまきます。その際は、以下のことにご留意下さい。

・散水は各系統ごとに行われます、すべて同時に水をまくことは出来ません。
・散水時間は各系統ごとに設定する必要があります。
・開始時刻は系統の順に散水を行うので、各系統ごとに設定する必要はありません。
（次の系統の散水は自動で始まります。）

コントローラの液晶画面では「番号」と「系統アイコン」で表示されます。

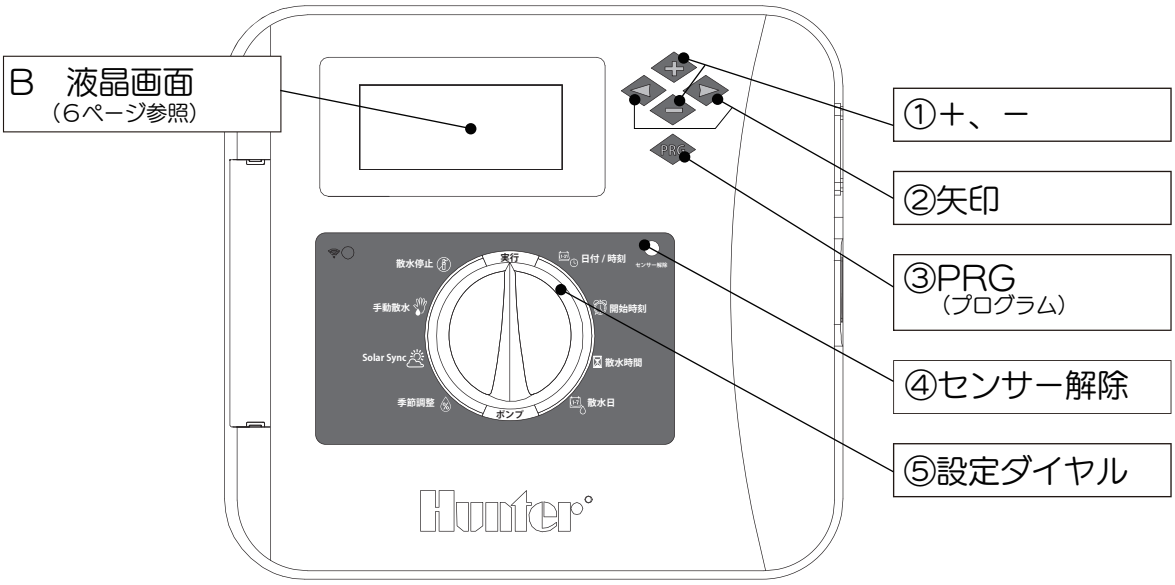


※系統２の表示
系統が変わると数字が
変わります。

2. 各部の名称－A

A：操作パネル前面

※設定方法は１３ページから



B　液晶画面

コントローラーの状態を表示します。
画面表示は次ページ（6ページ）にて。

①＋、－

主に数字の増減に使用します。
点滅している数値の変更が可能です。

②矢印

設定時の項目移動に使用します。

③PRG（プログラム）

※設定をリセットする場合などに使用します。
手順は２７ページ参照

『系統別プログラム』を設定する場合に使用します。設定が複雑なため、熟練者向けの操作となります。１日の散水設定回数を５～１２回に設定したい場合などの時に使用します。

⚠ 『系統別プログラム』は２８ページを参照。

④センサー解除ボタン

センサーを接続している場合に使用します。
ボタンを押すとセンサーを解除します。
もう一度押せば、作動に切り替わります。

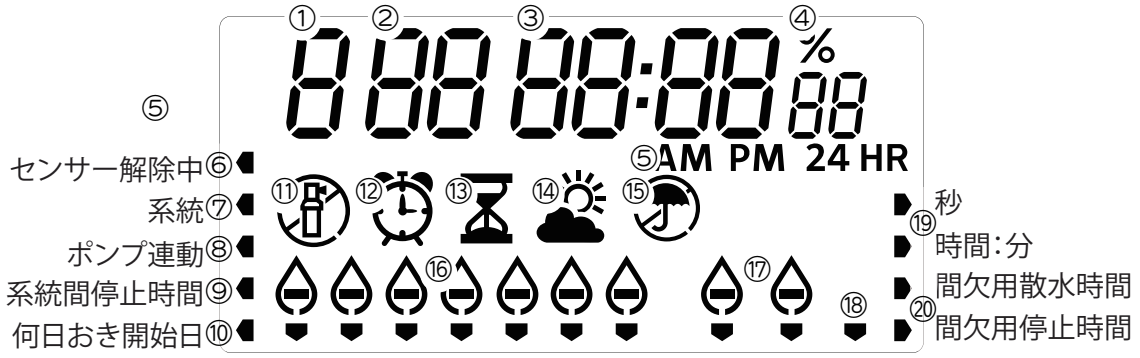
⑤設定ダイヤル

通常は「実行」に合わせておきます。コントローラの設定をする時に回します。

- 実行／通常のダイヤル位置です。
- 日付/時刻／現在時刻を調整します。
- 開始時刻／散水を開始する時刻を設定します。（通常４回まで）
- 散水時間／散水する時間を設定します。（最大６時間まで）
- 散水日／散水する曜日を設定します。（曜日指定可能）
- 散水停止／自動散水を休止出来ます。散水中の中断も出来ます。（設定は保存されたまま）
- 手動散水／系統毎に手動で散水することが出来ます。
- SolarSync／ソーラーシンクウェザーセンサー以外では使用しません。（ソーラーシンクセンサーの取説参照）
- 季節調整／入力済みの散水時間を一括で増減する操作が出来ます。
- ポンプ／ポンプを接続して連動させる設定です。

2. 各部の名称－B

B：液晶画面



①：プラグラムを表示　※1（A,B,Cのどれか）
②：回数、系統などを表示
③：時刻、散水時間などを表示
④：散水時間の増減をパーセント表示
⑤：24時間、午前午後 -AM/PM/24HR- の表示
⑥：センサー解除中に表示
⑦：散水系統を表示
⑧：ポンプを表示（※２：ポンプ連動機能）
⑨：系統間で散水間隔があく時に表示（※３）
⑩：次の散水日までの残日数（P.21参照）
⑪：散水時や散水停止時に表示
⑫：散水開始時刻の表示
⑬：散水時間の表示
⑭：SolarSync（ソーラーシンク）の表示
⑮：センサーが作動している際に表示
⑯：曜日を設定、表示します
⑰：偶数日、奇数日の散水設定を表示
⑱：散水日の間隔を表示
⑲：時計モードを表示　「秒」、「時間：分」
⑳：間欠散水設定時に表示

※１：通常はプログラムＡでご使用下さい。
　　Ｂ，Ｃで表示された場合はボタンを押して
　　Ａに戻して下さい。（28ページ参照）

※２：ポンプ連動は追加オプションです。
※３：散水時間を延長して、予定時刻がずれる場合
　　に表示されます。

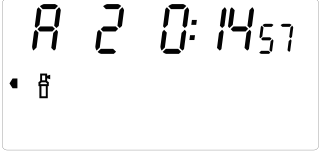
普段の液晶表示

自動散水待機状態のときは現在の時刻が表示されます。

センサー作動時の液晶表示

スイッチをセンサーONにして、レイン（雨）センサーが作動している場合は自動散水されず、上記の表示となります。

散水中の液晶表示



散水中は以下のものが表示されます。
散水系統番号
残り散水時間
プログラム表示
スプリンクラーアイコンの点滅
（チューブ散水の場合もこの表示となります。）

系統番号２
残り14分57秒
プログラムＡ

センサーをご使用のお客様へ　覚えておいて頂きたい事

レインセンサーは構造上、降雨時でも自動散水を休止しない場合や、晴天時でも自動散水が実行されない場合があります。以下のような時は、故障ではありませんのご注意下さい。

①散水開始時刻の直前や散水中に雨が降り出した時に水が出ている場合

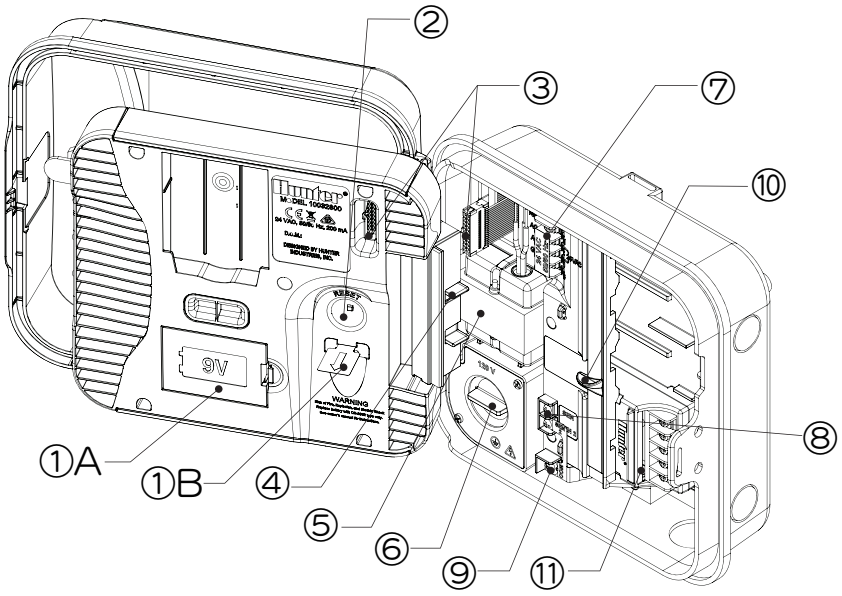
②散水開始時刻の数時間前にまとまった降雨があり、散水時間になっても水が出ない場合

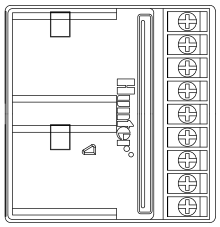
※　上記以外の表示が出た場合は26ページ～トラブル対策ページをご参照下さい。

2. 各部の名称－C

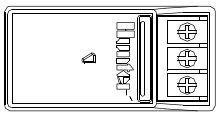
C：操作パネル裏面（配電盤）

※　図はC10SRC04です。





△
１６系統用
追加モジュール



△
３系統
追加モジュール

① 電池投入部：9Vアルカリ電池とボタン電池（CR2032）を入れる事が出来ます。
電池を入れなくても日常使用には支障ありません。電池については下記参照。
② リセットボタン：設定を初期状態に戻すことが出来ます。（方法は２７ページ）
③ パネルコネクター：本体と液晶部をつなぎます。取り外し可能です。
④ 操作パネルを本体から取り外すためのヒンジレバーです。
⑤ 電圧トランス：AC100VをAC24Vに変換します。
⑥ ジャンクションボックス：一次電源とアースをつなぎます。
⑦ AC24V入力部：変圧された電力を本体に分電します。
⑧ センサー接続部：センサーを接続します（詳細は１１ページ）
⑨ COM（コモン）集合線を接続します。
⑩ モジュールレバー：POWER ONでモジュール固定、コントローラー作動にします。
⑪ モジュール：基本モジュールは4系統、マスターバルブ用端子です。

電池について

散水設定は不揮発メモリーに記憶され、停電時でも通常保持されます。
ボタン電池は停電時に時計機能を維持するのに使用します。万一ボタン電池が機能していない状態で停電をすると、内蔵の時計がリセットされ、電源復旧後に時計時刻がずれてしまい、想定外の時刻に自動散水をする場合がありますので、ご注意下さい。

プロ C コントローラーには 2 種類の電池を使用します。
（無くても作動します。）
A：9V 電池（別途）
100V 電源が無くても各種設定が可能です。
B：ボタン電池（付属）
時計の時刻を維持するのに使用します。

A　9V 電池の入れ方

電池カバーを取り外して 9V 電池のプラスマイナスを正しく装着します。

B　ボタン電池の入れ方

出荷時は電池が入れてあり、絶縁フィルムが付いています。フィルムを抜けば使用出来ます。

・ボタン電池（CR2032）

GLOBEN

3. 取り付け

施工の前にご用意下さい

部材

・防水コンセントプラグ
・９Vアルカリ乾電池　（事前設定用）
・アンカーネジ（壁面と本体を固定します。）　３０mm程度　３本以上
・電源の延長線（出荷時の付属長さは５０ｃm程度です。）
・多芯制御線（各種電磁弁、センサー、アース線、アース棒）
・PF管（制御線保護用）
・圧着端子（防水コネクタ）
・配管部材
・コーキング剤

工具

・スクリュードライバー
・ドリル
・配線用工具類
　（ペンチなど）
・配管用工具類
　（塩ビカッター、シールテープなど）
・掘削工具類

梱包内容

・コントローラー本体×１
・部品袋（鍵２本、アンカーネジ）
・壁面固定用型紙
・取扱説明書（本書）

不足する物があった場合は、
お手数ですがご連絡下さい。

※コンセントプラグは付属してません。
※部品袋は操作パネルを開けて、
　配電盤部にあります。

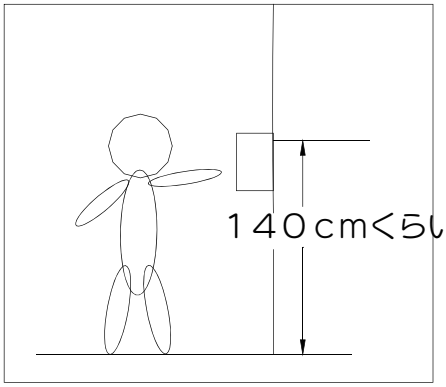
⚠ 設置場所についての注意点

以下のことに注意して設置場所を決めて下さい。

・設置予定の附近５m以内に電化製品が無いかチェックして下さい。
　電磁波の影響で誤作動、不具合の恐れがあります。
・壁面に固定する場合は電源が引きやすく、平坦な場所を選んで下さい。
・小さなお子様が触れて、いたずらする恐れがある場所は避けましょう。
・設置高さは操作しやすい１４０ｃm程度の高さが最適です。

⚠ 電源供給に付いての注意点

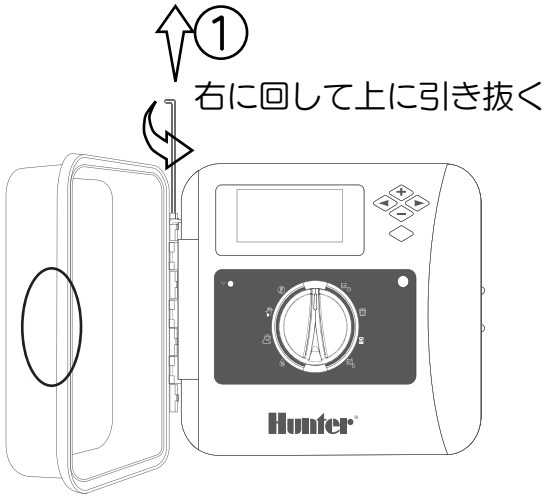
コントローラーを設置の際は常時通電するように設備
配線をして下さい。
施設などで利用する場合には、夜間でも通電させて
下さい、ブレーカーでON、OFFする配線に組み込んで
しまうとプログラムが誤作動する可能性があります。



取り付けの前に

取付けし易くするため、本体からコントローラのカバーと操作パネルを一旦外します。作業後は逆の手順で、元に戻して下さい。

カバーの外し方

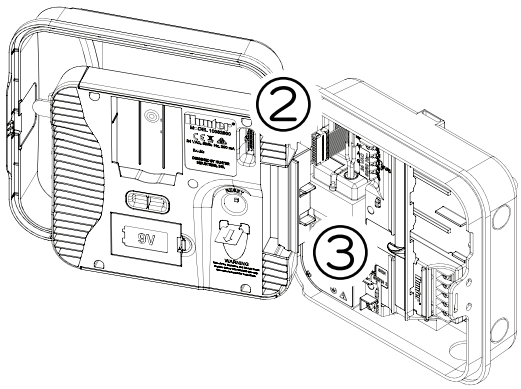


手順①カバーと本体の接続部にある金属の棒を右に回して、上に引き抜きます。

⚠ 出荷時は施錠してありません

強風などによる開放防止のため、カバーのツメがしっかり引っ掛る様に固くなっています。
外側に軽く広げながら空けて下さい。
締める際にもしっかり奥まで締めて下さい。

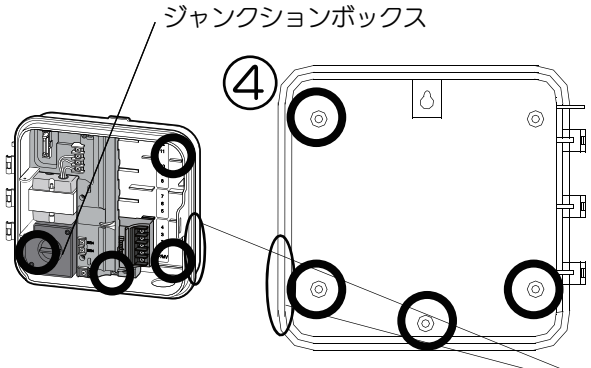
操作パネルの外し方



手順②操作パネルを開けて、パネルコネクタを取り外します。

⚠ 接続部分が損傷しないようにご注意下さい。

手順③ヒンジの取り外しレバーをつまみながら、操作パネルを手前に引いて外します。



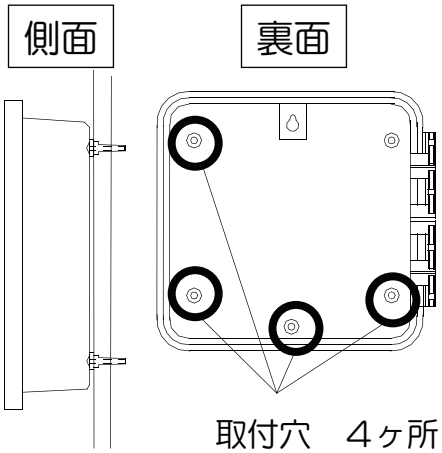
手順④コントローラーを壁面に取り付けるため、本体に6mm穴を4ケ所ドリルで空けます。
ジャングションボックスはネジを外して、ケーブルが破損しないように注意して下さい。
（付属の壁面固定用型紙は3箇所です。）

⚠ 横穴はセンサーと電磁弁を離して設置する時に空けます。
（空けなくても取付可能です。）

表面（中面）　裏面

GLOBEN

取り付け：本体を壁面に固定



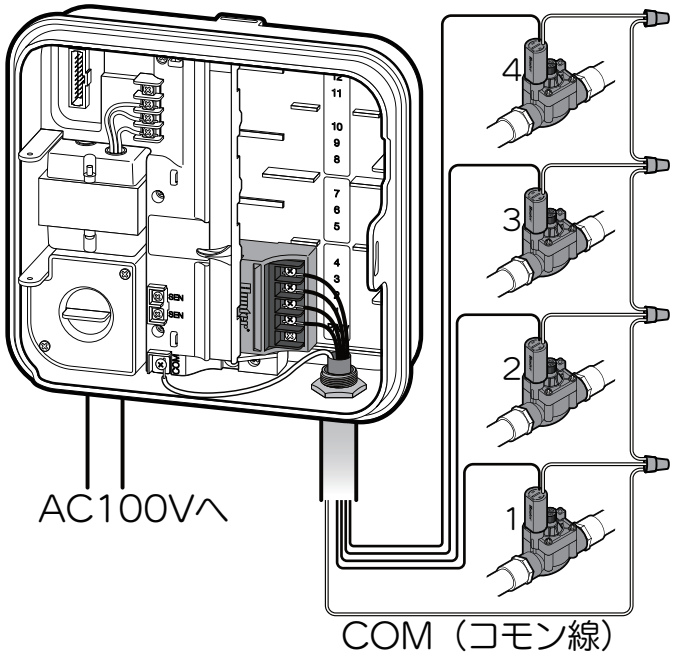
手順① コントローラーを取り付ける箇所に
同封してある型紙をあてて、印を付けます。

手順② 印を付けた場所にドリルで穴を空けます。

手順③ アンカーネジで本体を４ヵ所固定します。
※固定後、壁面とコントローラーとの隙間を
コーキング剤で埋めて下さい。

⚠ 固定用のアンカーネジは躯体壁面に合わせて
別途ご用意下さい。

取り付け：電磁弁の接続



手順① 電磁弁の設置場所を決めた後に、
コントローラーと電磁弁間の制御線の
ルートを決めます。

手順② コントローラーの底部右にある電磁弁
接続用の穴にＰＦ管（保護管）を接続
します。

手順③ 電磁弁から出ている制御線の片方を
延長して、コントローラーの系統番号に
接続します。

手順④ 電磁弁の制御線のもう一方を共通線
（『コモン線』白色部分）で全てつなぎ
コントローラーの「COM」と接続します。

手順⑤ アース線を取り完了です。

手順⑥ AC100V電源を防水コンセントや、
配電盤に接続して下さい。

⚠ 接続の際の注意事項

・電源は、すべての結線が完了した後に
安全を確認して入れて下さい。
・制御線同士をつなぐ場合は圧着端子
などを使用して、漏電や混線の無い
様にして下さい。
・電磁弁(AC24V用)に極性はありません。
・電磁弁の取扱いについては、電磁弁の
取扱説明書をご参照下さい。

推奨ケーブル種類

AC100V電源
CVV：1.25SQ以上

AC24V用（電磁弁、センサー）
VCTF：0.5SQ以上

上記は推奨品で当社指定ではありません。
ケーブルの延長距離や設置状況に応じ、
電気工事店などにご確認下さい。

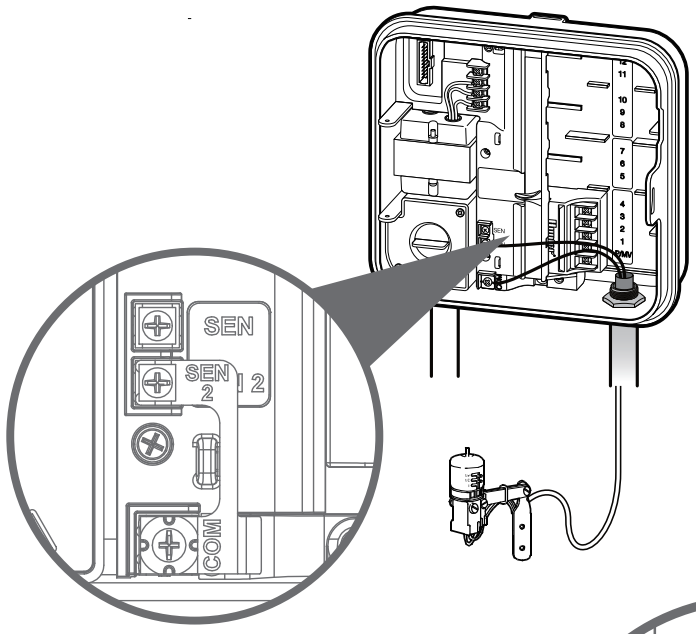
取り付け：各センサーの接続

別売りの専用センサーを使うことによって、雨天、低温時に
一時的に散水を休止することが出来ます。
センサーを結線した後は、操作パネルのセンサー解除ボタンを押すと、
結線したまま、24時間センサーを解除（無効化）します。

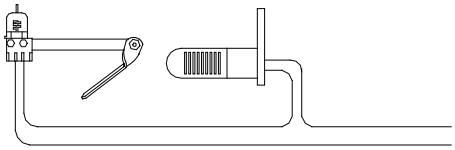
⚠ ソーラーシンクウェザーセンサーは取り付け方法が異なります

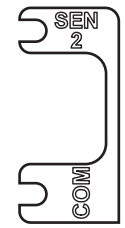
ソーラーシンクウェザーセンサーは結線方法が若干異なります。
詳細はセンサーの取扱説明書をご参照下さい。

注：必ず直列配線にして下さい

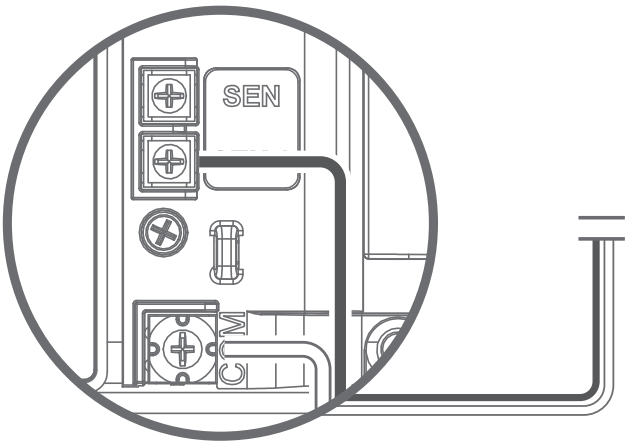


レインセンサー
＋
フリーズセンサー





注：金属プレートを
取り外してから
線を取付けて下さい。



手順①　電磁弁と同様に底部もしくは側面の穴から配線します。
手順②　「SEN2」と「COM」の端子台に付いている金属プレートを
（付いている金具）取り除きます。
手順③　「SEN2」と「COM」にセンサーの制御線を 直列 に取り付けます。

極性は無いので、どちらのケーブルでも可

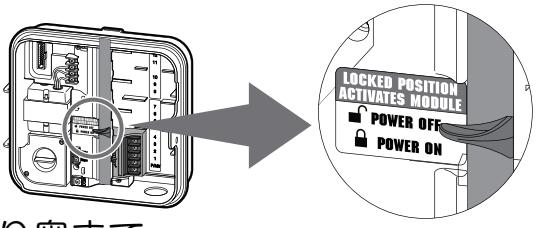
GLOBEN

取り付け：追加モジュール（４系統以上の場合）

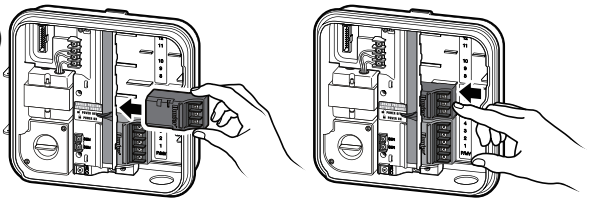
プロCコントローラーは配電盤部分にモジュールを
追加することで最大１６系統までの制御を行うことが出来ます。

⚠ 最初に電源を切って下さい。

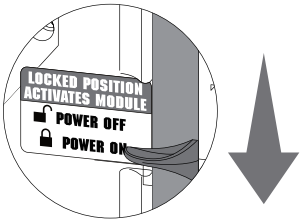
手順① モジュールレバーをOFFにします。



手順② 追加モジュールをしっかり奥まで
差し込みます。
（カチッと音がするまで）

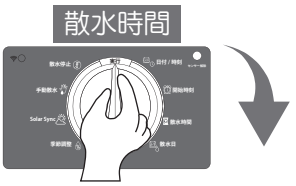


手順③ モジュールレバーをONにします。

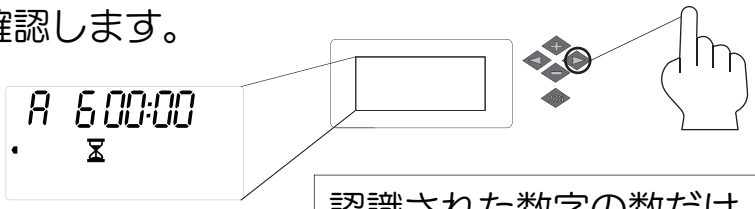


手順④ コントローラー本体の電源を入れて、
ダイヤルを 散水時間 にします。

＊液晶パネルを外した場合は、
付け直して、パネルコネクタを付けます。



手順⑤ ◆▶ ボタンを数回押して、
表示される数字を確認します。



認識された数字の数だけ
系統の設定が出来ます。

手順⑥ ダイヤルを実行に戻します。

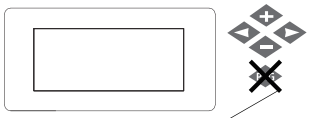
⚠ モジュール認識がうまくいかない場合

もう一度手順を最初から行い、
モジュールが奥まで差込まれているか確認します。
その後、コンセントを数回、差し直しします。

4. 操作方法

使用するボタン

・各設定はダイヤルを合わせた後、4つのボタン行います。



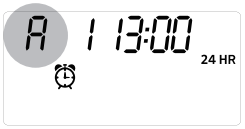
※使わなくても設定可能

数字の増減

項目の切り替え

PRGボタンについて

『系統別プログラム』が必要な場合のみご使用下さい。
通常は設定が複雑になるため、使用を勧めておりません。
液晶表示が「PROGRAM　A」になっている事をご確認下さい。
詳細は２８ページの『系統別プログラム』をご参照下さい。



操作方法の目次

i ：日付/時刻の設定
現在時刻の合わせ方 ---------- P.14

ii ：開始時刻の設定
開始時刻の設定 ---------- P.16
設定回数の変更 ---------- P.17

iii:散水時間の設定
散水時間の設定 ---------- P.18

iv：散水日の設定
曜日ごとに設定する場合 ---------- P.20
３日に１回散水するが毎週日曜は散水しない場合（インターバル） ------- P.21

v：手動散水系統別 ---------- P.22
vi：手動散水全系統 ---------- P.23
vii：散水停止 ---------- P.23
viii：季節散水時間調整 ---------- P.24
ix：追加設定機能 ---------- P.24
EX：『系統別プログラム』での運用 ---------- P.28

『系統別プログラム』は必要な場合のみご使用下さい。

GLOBEN

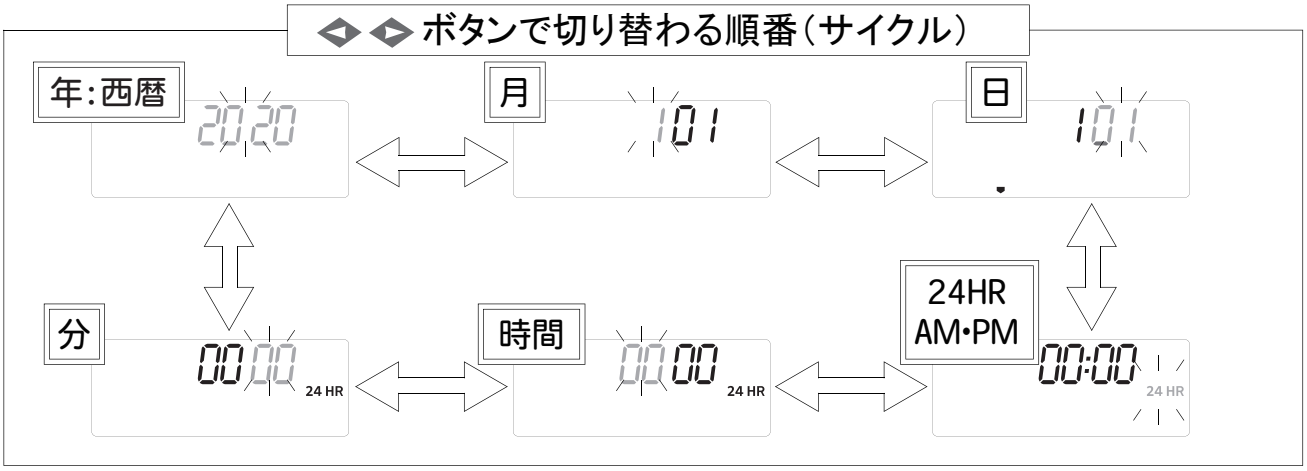
i：日付/時刻の設定

例：現時刻が2024年3月10日13時47分の場合

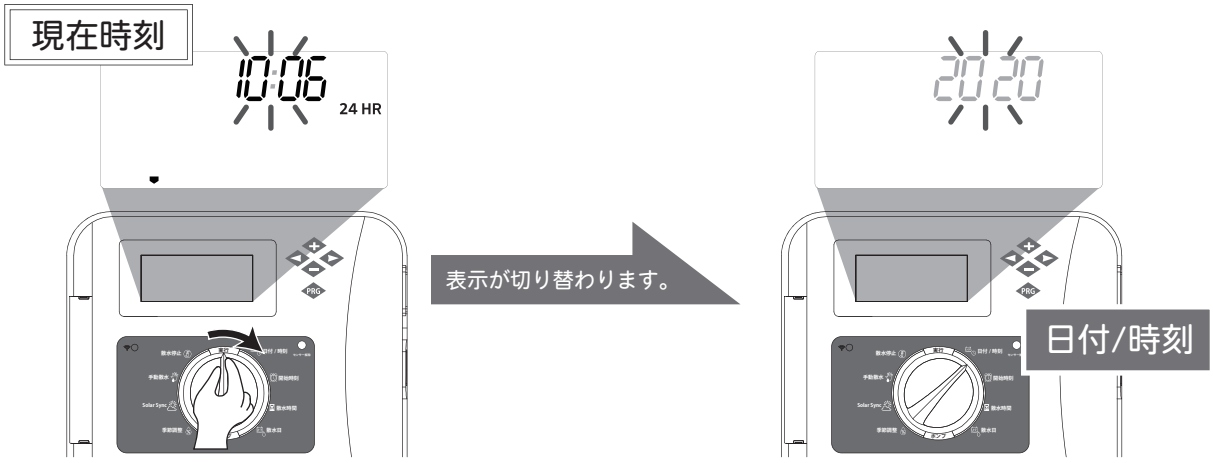
ポイント

・＋ － ボタンで数字の変更、◀ ▶ボタンで設定項目切替になります。
・曜日は自動で切り替わります。（閏年対応）

◀ ▶ ボタンで切り替わる順番（サイクル）



・ダイヤルを 日付/時刻 に合わせます。



・＋ － ボタンを押して、『年』を合わせたら、▶ボタンを１回押して下さい。

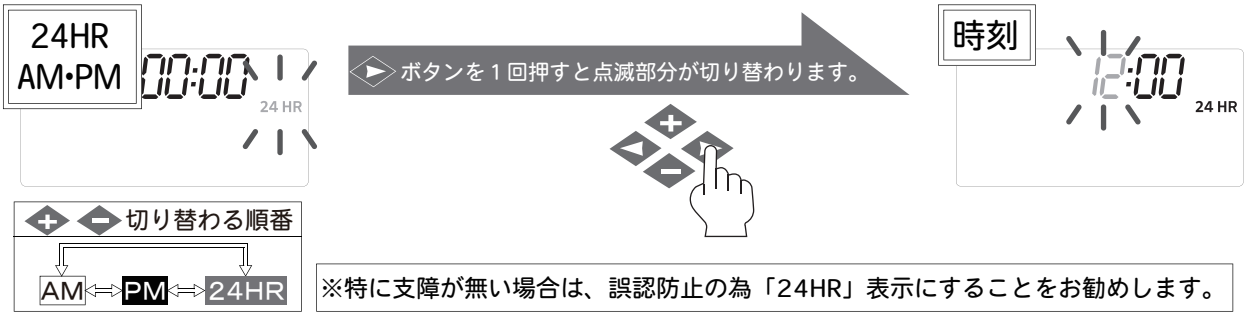
・＋ － ボタンを押して、『月』を合わせたら、▶ボタンを１回押して下さい。

次ページに続く

前ページからの続き

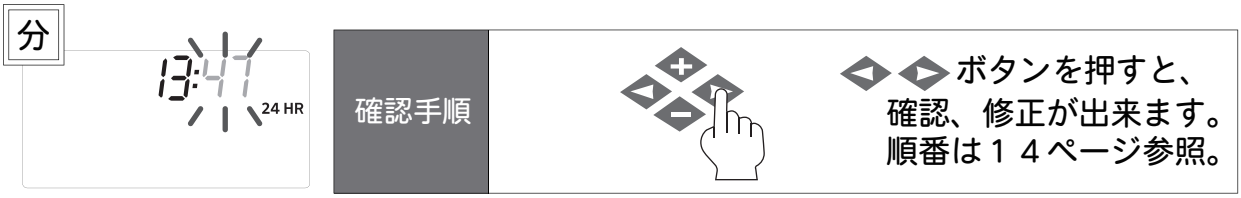
・＋ － ボタンを押して、『日』を合わせたら、▶ ボタンを１回押して下さい。

・＋ － ボタンで『24時間表示』か『AM/PM表示』を選択し、▶ ボタンを１回押して下さい。

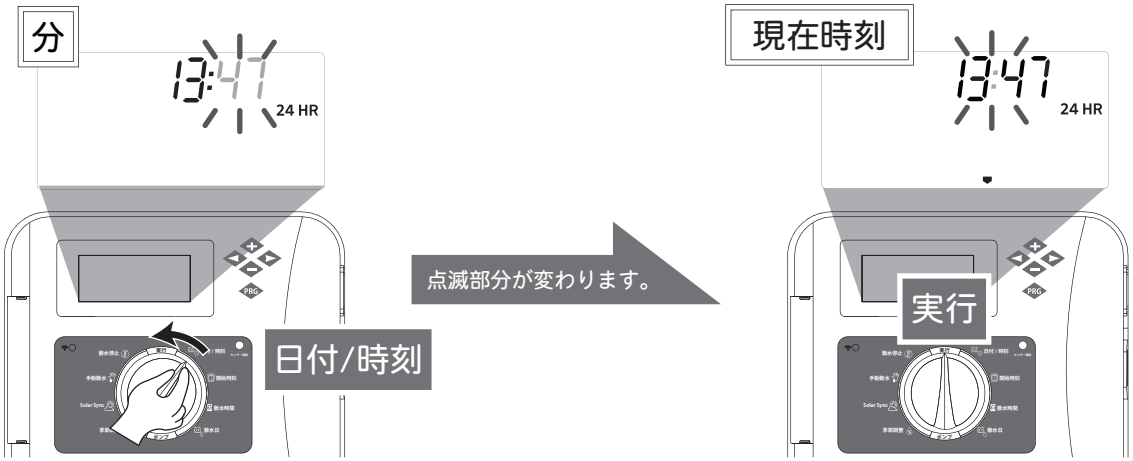


・＋ － ボタンで『時刻』を合わせて、 ▶ ボタンを１回押して下さい。

・＋ － ボタンで『分』を合わせます。入力操作は以上です。



・ダイヤルを 実行 に戻して、完了です。

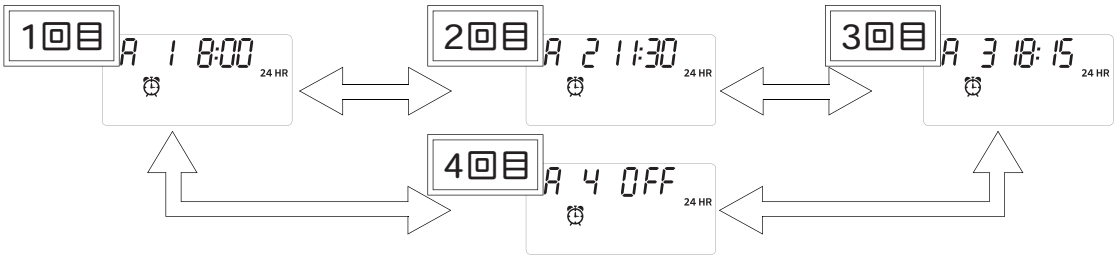


ii．開始時刻の設定

ポイント

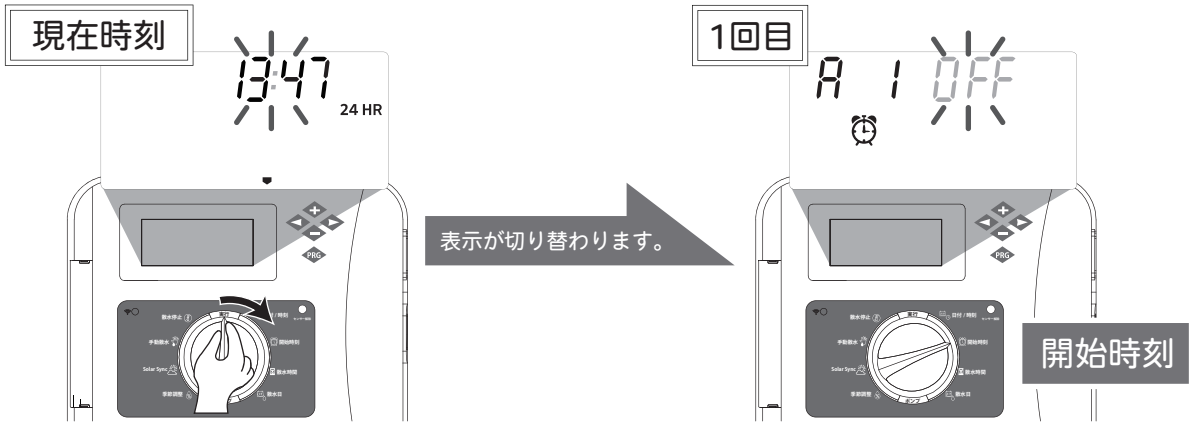
・開始時刻は15分単位の設定になります。
・◀▶ ◀▶ボタンで散水開始時刻の回数が切り替えられます。
・1日最大４回まで設定可能です。
・≪OFF≫表示の場合は散水されません。
・電磁弁ごとに個別に設定する必要はありません。(順番に実行されます。)

◀▶ ◀▶ ボタンで切り替わる順番（サイクル）



設定例：1回目６：１５、2回目１７：３０、3,4回目未設定の場合

・ダイヤルを 開始時刻 に合わせます。



・◀+ ◀− ボタンで、１回目の『開始時刻』を設定し、◀▶ ボタンを１回押して下さい。

開始時刻は15分単位の設定になります。

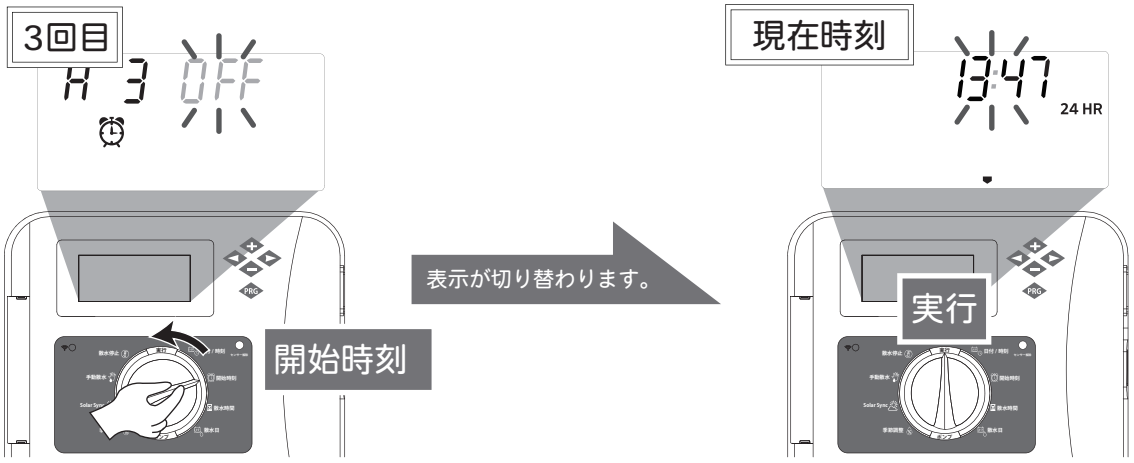
次ページに続く

前ページからの続き

・＋ － ボタンで、２回目の『開始時刻』を設定し、▶ ボタンを１回押して下さい。

入力操作は以上です。確認、修正は◀ ▶ ボタンを押して下さい。
３，４回目を入れる時は操作を繰り返して下さい。

・ダイヤルを 実行 に戻して、完了です。

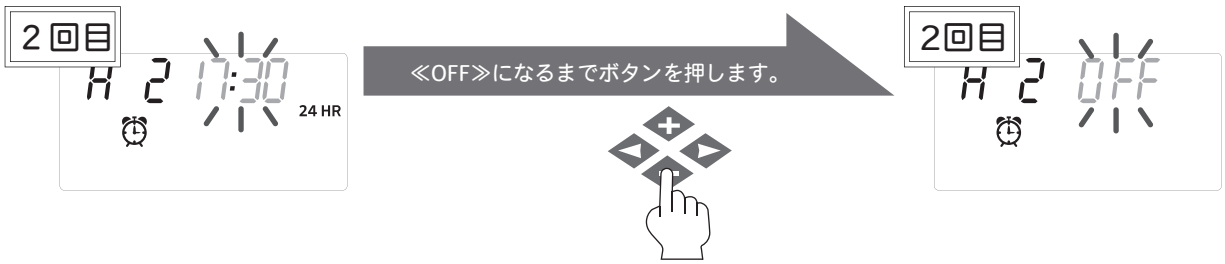


設定例：散水の回数を1日２回から１回に変更する場合

・ダイヤルを 開始時刻 に合わせます。

既に設定済みの開始時刻の１回目が表示されます。
▶ ボタンで散水を止める開始番号に合わせます。
＋ － ボタンで『散水開始時刻』を≪OFF≫にします。

≪OFF≫は「23：45」と「0：00」の間になります。



・◀ ▶ ボタンで３回目、４回目も≪OFF≫になっているか確認して下さい。

≪OFF≫になっていないと散水してしまいます。

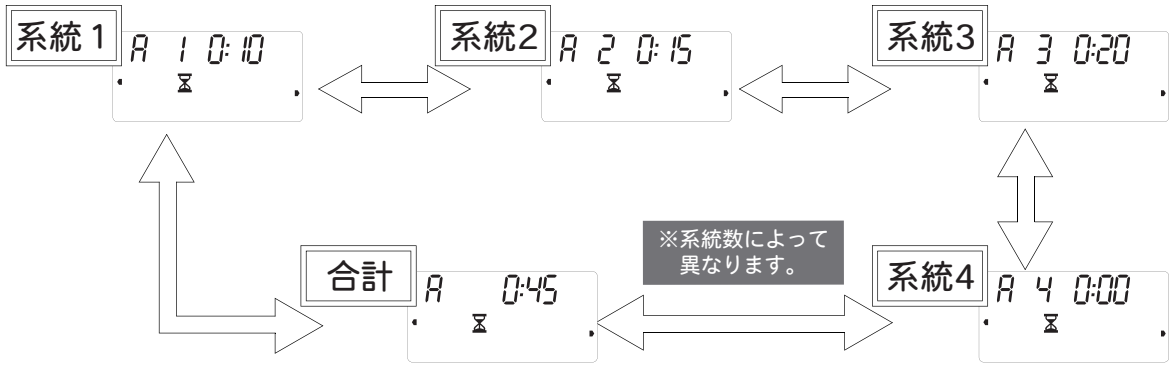
・ダイヤルを 実行 に戻して、完了です。

iii. 散水時間の設定

ポイント

- 散水時間（水をまく時間）を設定します。
- ◀▶ ◀▶ ボタンで系統毎の散水時間の設定画面に切り替わります。
- 1回に６時間まで設定可能です。（120分までは1分単位、以降は10分単位）
- 開始時刻ごとに散水時間を変更することは出来ません。
- ≪0:00≫表示は散水時間ゼロです。（散水されません。）

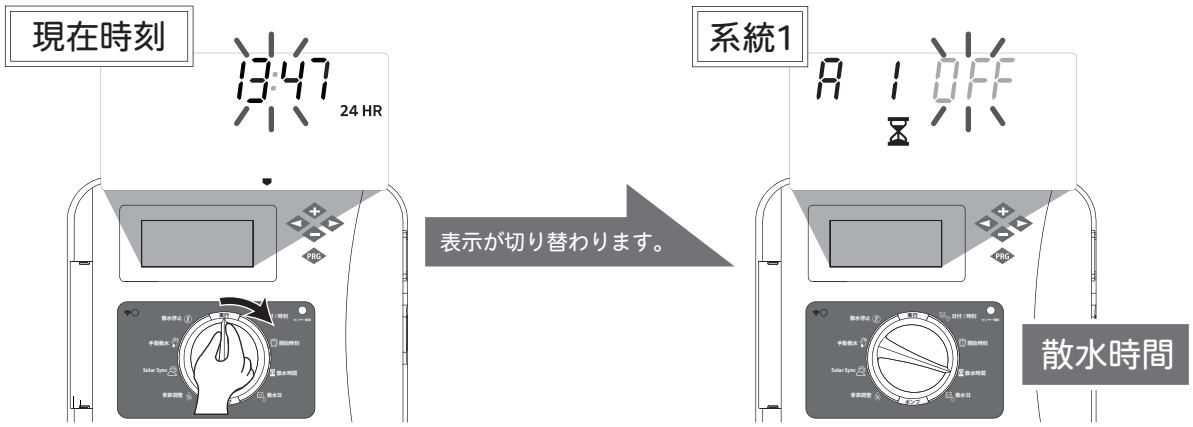
◀▶ ◀▶ ボタンで切り替わる順番（サイクル）



※通常は本体に接続されているモジュールの数だけ表示されます。
※操作パネルを外して、乾電池で設定する場合は１６系統分の表示がされます。
※系統が正しく認識されない場合は１２ページを参照の上、ACコンセントを抜き差しして復旧して下さい。

設定例：系統１=10分、系統2=30分の場合

・ダイヤルを 散水時間 に合わせます。



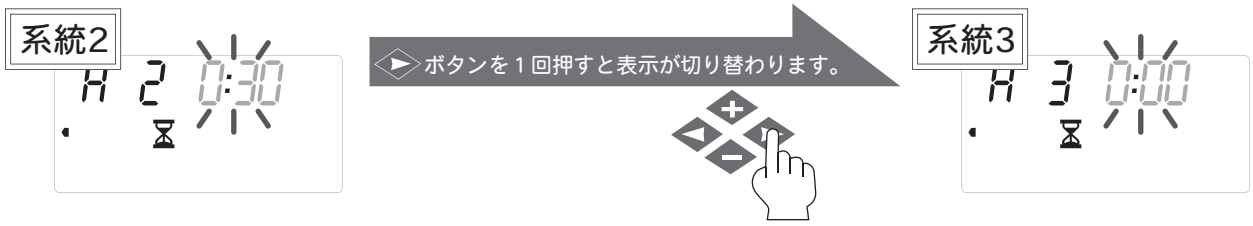
・＋ － ボタンで、系統1の『散水時間』を設定し、▶ ボタンを１回押して下さい。

120分まで1分単位、
以降は10分単位になります。

次ページに続く

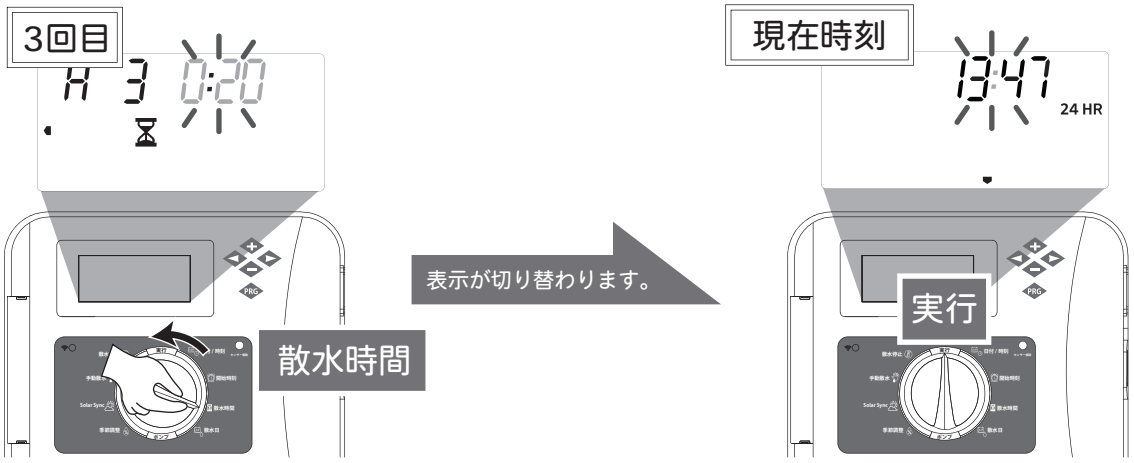
前ページからの続き

・ ＋ － ボタンで、系統２の『散水時間』を設定し、▶ ボタンを１回押して下さい。



・入力操作は以上です。確認、修正は ◀ ▶ ボタンを押して下さい。
・3系統以上の設定が必要な場合は操作を繰り返して下さい。

・ダイヤルを 実行 に戻して、完了です。



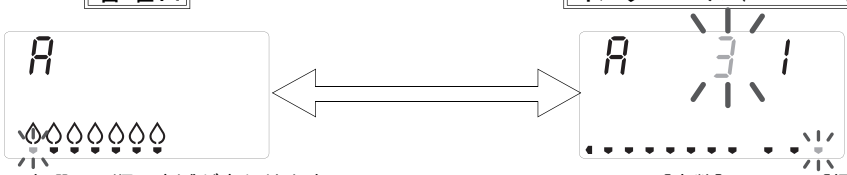
ⅳ. 散水日の設定

ポイント

・散水日（水をまく曜日）を設定します。
・曜日ごとに設定可能です。
・３日間で１日だけ散水の繰り返しなどの設定ができます。

◀ ▶ ボタンで切り替わる順番（サイクル）

各曜日 ⇔ インターバル（INTERVAL）



※各曜日の順に点滅が変わります。

※ODD【奇数】⇔EVEN【偶数】⇔インターバル各曜日の順に点滅が変わります。

※一番最後に設定した曜日間隔で散水されます。
※インターバルは「２」で２日間に１回（１日おき）、「５」で５日に１回（４日おき）散水されます。
※インターバルで「１」の場合は毎日散水されます。
※奇数日、偶数日はカレンダーに連動しています。年月日の設定を間違えずに設定して下さい。

液晶表示について

月	月
散水する日（月曜日）	散水しない日（月曜日）

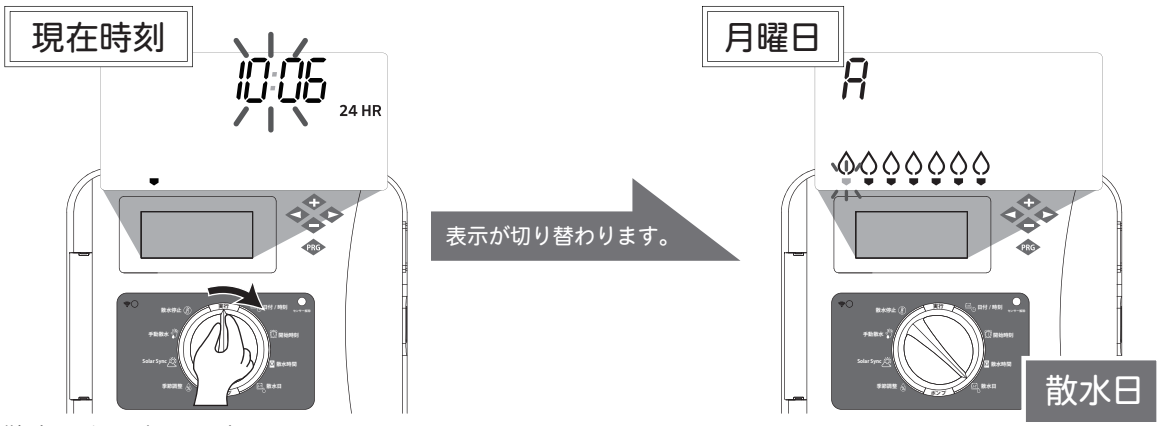
※インターバルは表示が若干異なります

例①：月曜,木曜,土曜に散水する場合

例②：3日に1回散水するが、毎週日曜は散水しない場合

設定例：曜日ごとに設定する場合

・ダイヤルを 散水日 に合わせます。



・散水日を設定します。

・◀ ▶ ボタンを押すと曜日が切り替わります。
・＋ － ボタンを押して設定します。

	ボタン	液晶表示
散水する日	＋	月
散水しない日	－	月

＋ － ボタンを押すと、次の曜日に移動します。
戻る場合は ◀ ボタンを押して下さい。
『日曜』の次は『奇数偶数設定』、『月曜』の前は、『インターバル』です。（切り替えサイクル参照）

次ページに続く

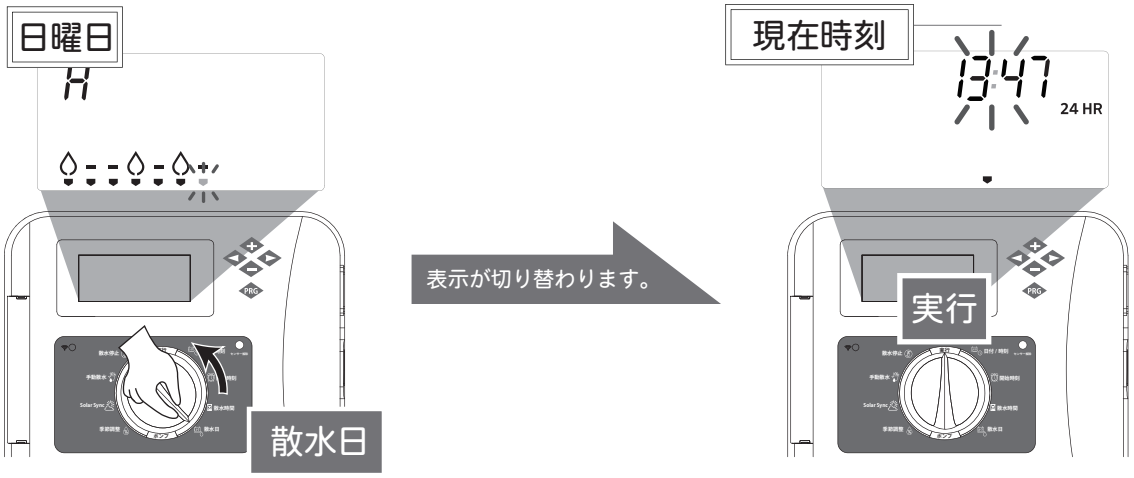
前ページからの続き

入力操作は以上です。確認、修正は ◀ ▶ ボタンを押して下さい。

・ダイヤルを 実行 に戻して、完了です。

注意事項

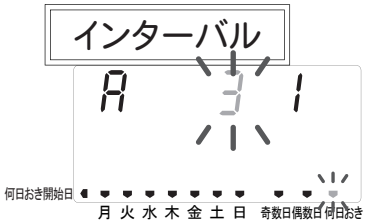
ダイヤルを回す直前の設定画面が実行されます。
インターバルなどの設定画面になっていないか確認して下さい。
下図をご参照下さい。



設定例：３日に１回散水するが毎週日曜日は散水しない場合

・ダイヤルを 散水日 にし、インターバル散水設定の画面にします。（下記参照）

◀ ▶ ボタンを押して、表示を切り替え ＋ － ボタンで散水間隔を設定して下さい。



「３」の場合は３日間で１回（２日おき）
「５」の場合は５日間で１回（４日おき）
「１」の場合は毎日散水されます。
※「３１」まで入力可能

・散水停止日を設定します。

- ◀ ▶ ボタンを押すと「ＤＡＹＳ　ＬＥＦＴ」が設定出来ます。
- 設定後にもう一度 ◀ ▶ ボタンを押すと散水停止日の設定が出来ます。
- ＋ － ボタンで散水停止日を設定して下さい。

左の表示は
・３日に１回散水
・２日後に次の散水実行
・毎週日曜は散水停止
となります。

DAYS　LEFT＝残日数

次の散水日までの日数設定です。
「０」表示の日に散水します。設定後はダイヤルを 散水日 にあわせて、確認します。

・ダイヤルを 実行 に戻して、完了です。

必ずインターバル画面の状態でダイヤルを戻して下さい。

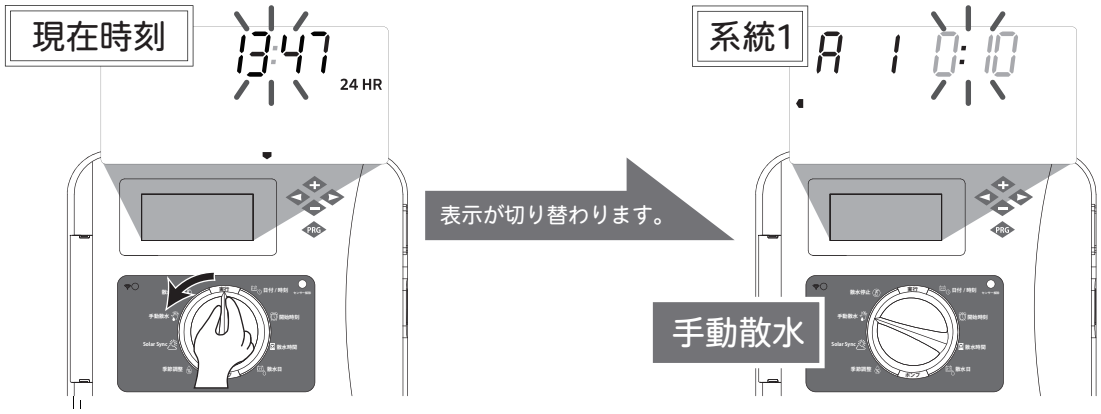
Ⅴ．手動散水系統別

ポイント

・手動で散水をします。(系統毎の時間設定が可能です。)
・設定済みの「散水時間」から時間の増減が可能です。
・センサーで散水停止中の場合でも水を撒く事ができます。

設定例：指定した系統のみを手動で水を出す場合
１系統のみ散水（全系統の場合は２３ページ参照）

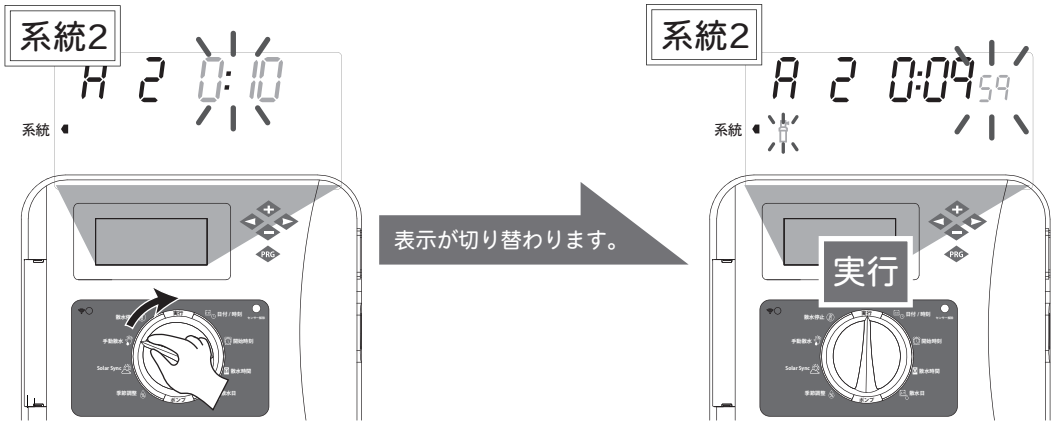
・ダイヤルを 手動散水 に合わせます。センサー作動中の状態でも水が出ます。



・◀▶ ◀▶ ボタンで水を撒きたい系統に合わせます。

・✚ ➖ ボタンで『散水時間』を変更します。（表示時間のままで良い場合は次へ）

・ダイヤルを 実行 の所まで回して下さい、しばらく経つと自動散水が始まります。



途中で散水を中止する場合は 散水停止 にダイヤルを合わせて、停止を確認した後 実行 にダイヤルを戻して下さい。

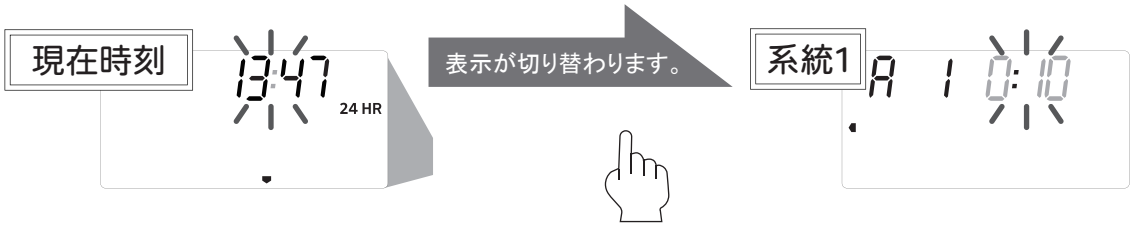
手動散水

vi. 手動散水全系統

ポイント

・手動で散水をします。(系統毎の時間設定が可能です。)
・全系統同時には水は出ません。(順番に出ます。)
・センサー作動中の場合は解除して下さい。

・◀▶ を押し続けます。（センサー作動中の場合は、解除して下さい。）



すぐに次のボタン入力をしないと設定済みの散水時間で全系統自動散水が始まります。（変更しない場合は以上で完了です。変更する場合は次の操作へ）

・◀▶ ◀▶ ボタンで時間を変更したい系統に合わせ ✚ ➖ ボタンで散水時間を変更します。

系統２だけ水を撒きたくない場合には、散水時間を０分にすると系統２はスキップされます。

・◀▶ で「系統１」の表示画面に戻し、そのままにしておくと散水を開始します。

系統１まで戻さないと時間変更を最後にした系統番号からの散水となり、系統番号が前の系統は散水されません。

⚠ 散水中はボタンを押さないで下さい。

◀▶ ◀▶ ボタンを押すと現在散水中の系統がスキップされます。
✚ ➖ ボタンを押すと散水時間が変更されます。

vii. 散水停止

ポイント

・散水中にダイヤルを合わせると中断出来ます。
・設定を残したままで、無期限もしくは1～31日間の散水停止が出来ます。

・ダイヤルを 散水停止 に合わせると液晶にＯＦＦが表示されます。
散水中は散水が中断され、それ以外の場合は設定を残したまま設定が実行されません。
・期間設定したい場合は、✚ ボタンを押すと停止期間を設定出来ます。ダイヤルは自動運転に戻します。

・自動散水中、手動散水中に限らず中断出来ます。
・散水の中断を確認した後は 実行 にダイヤル戻して下さい。
戻し忘れると散水停止状態のままになります。

viii. 季節散水時間調整

ポイント

・設定済みの散水時間の増減が一括で簡単に出来ます。
・季節に合わせて散水時間の調整が出来ます。(完了時間も変わります。)

・ダイヤルを 季節調整 に合わせて ＋ － ボタンで散水時間を調整します。

初期設定は１００％で５％単位で全系統の散水時間増減する事が出来ます。

・毎分の散水量を変えるものではありません。
・散水時間を「６０分」で設定してある場合は３分単位(６０分の５％)で
時間が増減します。
・散水時間の上限は６時間、下限は１分です。(この操作で０分にはなりません。)
・％の上限は３００％、下限は５％です。
・散水完了時間も変わりますのでご注意下さい。

・ダイヤルを 実行 の所まで戻して下さい。

ix. 追加設定機能

ポイント

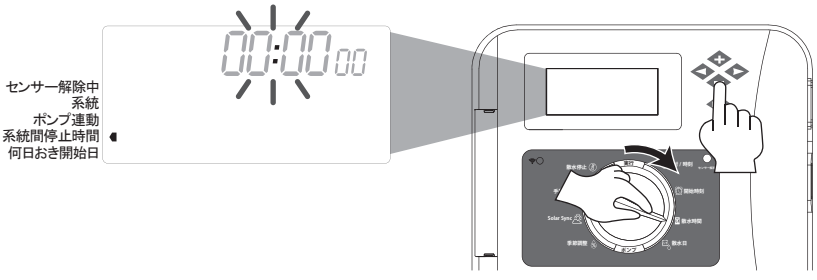
・お好みに合わせた設定が可能ですので、紹介致します。
・ボタンを押しながらダイヤルを回したり、すると追加設定機能が使えます。
例１:系統間停止時間の設定(散水開始時刻遅れ)

１：系統間停止時間の設定

初期設定では複数系統がある場合、間隔を空けずに次系統の散水が始まります。
この設定をする事で、次系統の散水開始の間隔を設ける事が出来ます。
1系統の場合は必要ない機能です。

・－ ボタンを押しながら、散水時間 にダイヤルを合わせて、－ ボタンを離します。

液晶左側の系統間停止時間のアイコンが表示し、０～59秒の間で１秒間隔、
以降は分間隔で最大４時間まで、間隔をあけた散水の設定が可能です。
ポンプなど給水に時間が掛かる場合には、この機能を使用すると
系統毎に時間差を付けられます。



・ダイヤルを 実行 の所まで戻して設定完了です。

ix. 追加設定機能

ポイント

・ボタンを押しながらダイヤルを回したり、すると追加設定機能が使えます。

設定内容が複雑になってしまった場合は、リセット操作を実施して下さい

No.	ボタン	ダイヤル(ボタン)	機能	概要
1	＋	開始時刻	秒モード	秒モード（任意）では、最大5分まで、散水時間を秒単位で設定できます。+ボタンと-ボタンを押すと、秒モードと分モードが切り替えられます。
2	－	開始時刻	系統別 センサー解除	個々のステーションがセンサーシャットダウンを無視するように設定します。センサー解除するには、◀または▶でステーションを選択し、+/-を使用してオフに変更します。
3	＋	散水時間	間欠散水設定	間欠用散水時間と間欠用停止時間はPRGで切り替えます。系統で一度に散水できる最大時間と、別系統まで待機する必要がある最小時間を設定します。散水時間を任意で分割し、土壌流出を防ぐのに効果的です。
4	－	散水時間	系統間の 時間差散水:遅延	通常は即座に別系統の散水が開始されますが、タンク充填のためなどに、別系統に切り替わるまでの時間差：遅延を任意で設定出来ます。
5	－	散水日	簡単モード	+/-を使用して、4から1に変更すると、Aプログラム：開始時間1日1回だけの設定に限定できます。余分な設定が出来なくなります。
6	＋	Solor Sync	Solor Syncの 開始遅延	Solar Syncセンサーが散水時間の調整を開始するまでの日数を設定します。センサーが自動的に調整を開始する前に、設定した日数の間、地理条件を確立できるようにします。
7	＋	散水停止	センサー復旧の 開始遅延	センサーが作動して復旧した後、散水の停止を継続する日数を設定します。
8	PRG	リセット	設定リセット	液晶裏面のリセットボタンを一緒に押すとリセット可能です。詳細はP.27を参照下さい。
9	＋ 長押し	PRG 長押し	散水設定保存	入力済の設定を保存します。リセットしても復元操作で元に戻ります。
10	－ 長押し	PRG 長押し	保存設定復元	保存済の設定を復元します。
11	PRG 長押し	-	手動散水全系統 任意時間	散水開始前に+/-で時間設定が可能です。１分で設定すれば、すべての系統で１分間散水します。▶を使用すると、次の系統に進みます。
12	▶ 長押し	-	手動散水全系統 設定済内容	散水開始前にPRGを押すとプログラムが選択可能です。選択したプログラムに含まれるすべての系統で散水します。▶を使用すると、次の系統に進みます。

接続配線の自己診断

＋ － ◀ ▶ ４つのボタンを同時に押し、液晶画面が全表示された後

＋ ボタンを1回押すと、接続配線が正しいか自己診断を実施します。

5. よくあるQ&A①

ご使用中に異常が発生した場合は下記を参考に点検をして下さい。
万が一症状が改善されない場合は販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

症状	原因	解決方法
・液晶が表示されない	・電源供給がされていない。	①AC100V電源と配線を調べ、不良箇所を直して下さい。 ②新しいバックアップ電池を取付て下さい。
	・操作パネル裏のコネクタは接続されていますか？	コネクタを差し込んで下さい。
	・コントローラーがモジュールを認識していない。	本体配電盤のモジュールが正しく接続されているか確認し、P12を参照の上、復旧して下さい。
・「ERR」の画面表示されている	・システムが電磁波の影響を受けている。	コントローラと附近の電磁波が発生している機器を離し、制御線を延長していたら保護用制御線に取り替えて下さい。
・「P ERR」の画面表示がされる	・ポンプ（P/MV）に接続している端子に問題がある。（配線がショートしているなど）	①本体とポンプの制御線を交換、修理して下さい。 ②配線内に浸水が無いか確認して下さい。
・「2 ERR」の画面表示がされる（数字の箇所は系統数に応じて変わります。）	・電磁弁につながる制御線がショートしている。	①表示されている系統の制御配線を交換、修理して下さい。 ②配線内に浸水が無いか確認して下さい。
・「NO AC」の点滅表示がされる	・AC100V電源がコントローラに来ていない。	コンセント、パネルコネクター、ブレーカ、配線類が正しく接続されているか確認して下さい。
・液晶表示はしているが散水されない	・時刻,散水開始時刻,散水時間それぞれ設定してありますか?	説明書（本書）を参考に入力して下さい。 停電等が原因で長時間通電が無かった場合設定が消えている場合があります。
	・止水栓は開いていますか？	止水栓を開けて下さい。
	・ダイヤルが《自動散水》になっていますか？	ダイヤルを自動散水に合わせて下さい。
	・センサーが機能している。 ・「OFF 」と「傘」が表示	センサーが作動しています。 散水したい場合は手動にて行って下さい。 P22参照
	・配管、制御線の接続は正しくされていますか？	止水栓を閉め、接続されているかをご確認下さい。
	・配管、制御線などに損傷はありませんか？	止水栓を閉め、損傷箇所を直して下さい。
	・設定時刻が重複していませんか？	時刻設定を確認して下さい。
	・電磁弁の流量調節用ツマミが閉められている。	反時計回しにツマミを回すと流量が多くなります。（回し過ぎに注意！）
	・ストレーナーに異物が詰まっている。	ストレーナーのツマミを回して異物を除去して下さい。
・指定された時刻以外に水が出てしまう。 （次ページに続く）	・散水開始時刻、散水時間は正しく入力されていますか？	説明書（本書）を参考に入力して下さい。
	・PRG（プログラム）を組んである	プログラムA以外の設定を確認して下さい。 必要なければ消去して下さい。 P28参照
	・液晶が「系統間停止時間」を表示している.	設定時間から延長して散水しています。 設定時間を確認下さい。
	・設置場所に高低差がある。	配管内の水が残っている場合は散水終了後も水が少量出る場合があります。

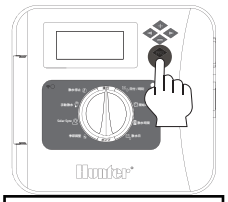
5. よくあるQ&A②

症状	原因	解決方法
・指定された時刻以外に水が出てしまう。	・電磁弁異常	①ソレノイド「SOLENOID」（配線の伸びている黒い棒状の栓）が緩んでいる、時計回しに閉めて下さい。
		②電磁弁内部に異物が詰まっている 分解して洗浄、もしくは交換して下さい。
・各センサーが正しく作動しない	・本体配電盤の金属プレートが付いたままになっている。	金属プレートが外れているか確認して下さい。 P11参照
	・センサーが解除中が表示している。	センサー解除ボタンを押して下さい。 P5、6参照
	・センサーは正しく取付けられていますか？	正しく取り付けして下さい。 P11参照
	・その他 雨が降っているのに散水をしている。	センサーの仕様で降雨中でも水が出ることがあります。散水を止めたい場合はダイヤルを《散水停止》にします。（後で戻して下さい。）仕様、状況に付いてはP6参照
・コントローラーが設置電磁弁を認識しない （系統数が正しくない）	・コントローラーがモジュールを認識していない。	本体配電盤のモジュールが正しく接続されているか確認し、P12を参照の上、復旧して下さい。
・鍵を紛失した		予備の鍵を別売りで用意しています。

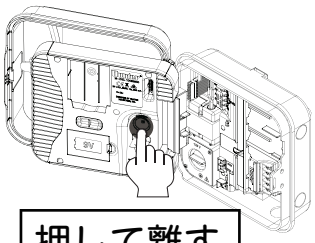
プログラムリセットの手順

すべての設定を消去するには本体リセットの必要があります。

① PRG ボタンを押しながら、液晶裏のリセットボタンを押して離します。

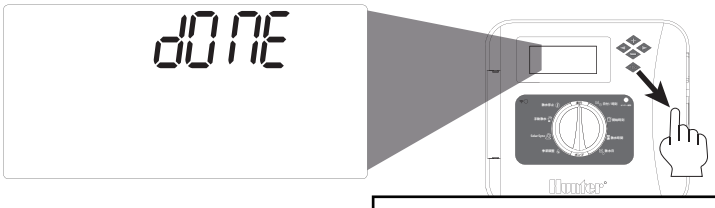


押しながら



押して離す

②液晶表示に「done」の表示が出たら、PRG ボタンを離して完了です。



表示が変わったら離す

EX. 『系統別プログラム』での運用

PRG ボタンを使用して行う『系統別プログラム』は若干複雑な為、通常入力しないようにお願いしておりますが、万一必要な場合を想定し、運用される場合の手助けとして紹介します。また、誤って押してしまった場合は、下記を参考に元に戻して下さい。

⚠ＰＲＧボタンのサイクル

PRG

PRG ボタンは通常使用しない為、押さない様にして下さい。

設定入力中に誤って、押してしまった時は、再度 PRG ボタンを押して、
A:プログラム の設定画面に戻して下さい。

※（PRG）のB・Ｃは初期設定がOFFになっています。
※想定外の時間に水が出ているなど、誤って『系統別プログラム』が設定されている可能性がある場合は、下記を参考に確認、再設定を行って下さい。

『系統別プログラム』の確認と修正の手順　A:プログラムだけを使用する場合

・ダイヤルを 開始時刻 に合わせます。

- A:プログラム が表示をされているのを確認します。A以外の場合は PRG ボタンを押して、A:プログラム の設定画面にして下さい。
- ▶ ボタンを押して、希望通りに開始時刻が入力されているか確認します。
  （開始時刻が異なっている場合は１６ページを参考に入力して下さい。）

・A:プログラム 以外の設定を確認して、修正します。

- PRG ボタンを押して、B:プログラム の設定画面にします。
- ▶ ボタンを押して、開始時刻が入力されていないかを確認します。
  入力されてしまっている場合は１７ページを参考にして、すべて≪OFF≫になるように修正を行って下さい。
- C:プログラム も同様に確認修正を行った後に A:プログラム に戻して完了です。

⚠ ・開始時刻 が≪OFF≫の場合は、散水時間 と 散水日 が入力してあっても散水はされません。

EX. 『系統別プログラム』での運用

下記のような場合には『系統別プログラム』が必要となります。
- １日の散水設定回数が４回以上必要な場合（例①参照）
- 朝晩で散水時間を異なる時間にしたい場合（例②参照）
- 系統毎に１日の散水回数や散水日を変えたい場合（例②参照）

⚠ 季節ごとの運用は出来ませんので都度設定変更して下さい。

例①　1日に4回～12回に分けて散水する場合。

1～4回（通常）：A:プログラム
5～8回目／日　：B:プログラム
9～12回目／日：C:プログラム

左のようにそれぞれで散水時間や曜日を設定する必要があります。

例②　３系統で植栽が３種類あり、水を与える頻度を分けたい場合。

それぞれの散水頻度や時間を変更することが出来ます。

PRG	A:プログラム	B:プログラム	C:プログラム
植栽	芝生	花壇	屋上
頻度	毎日2回	毎日1回	毎週　水曜１回
開始時刻	朝　6：00～　15分	朝　7：00～　5分	朝　8：00～　10分
散水時間	夕　19：00～　同上		

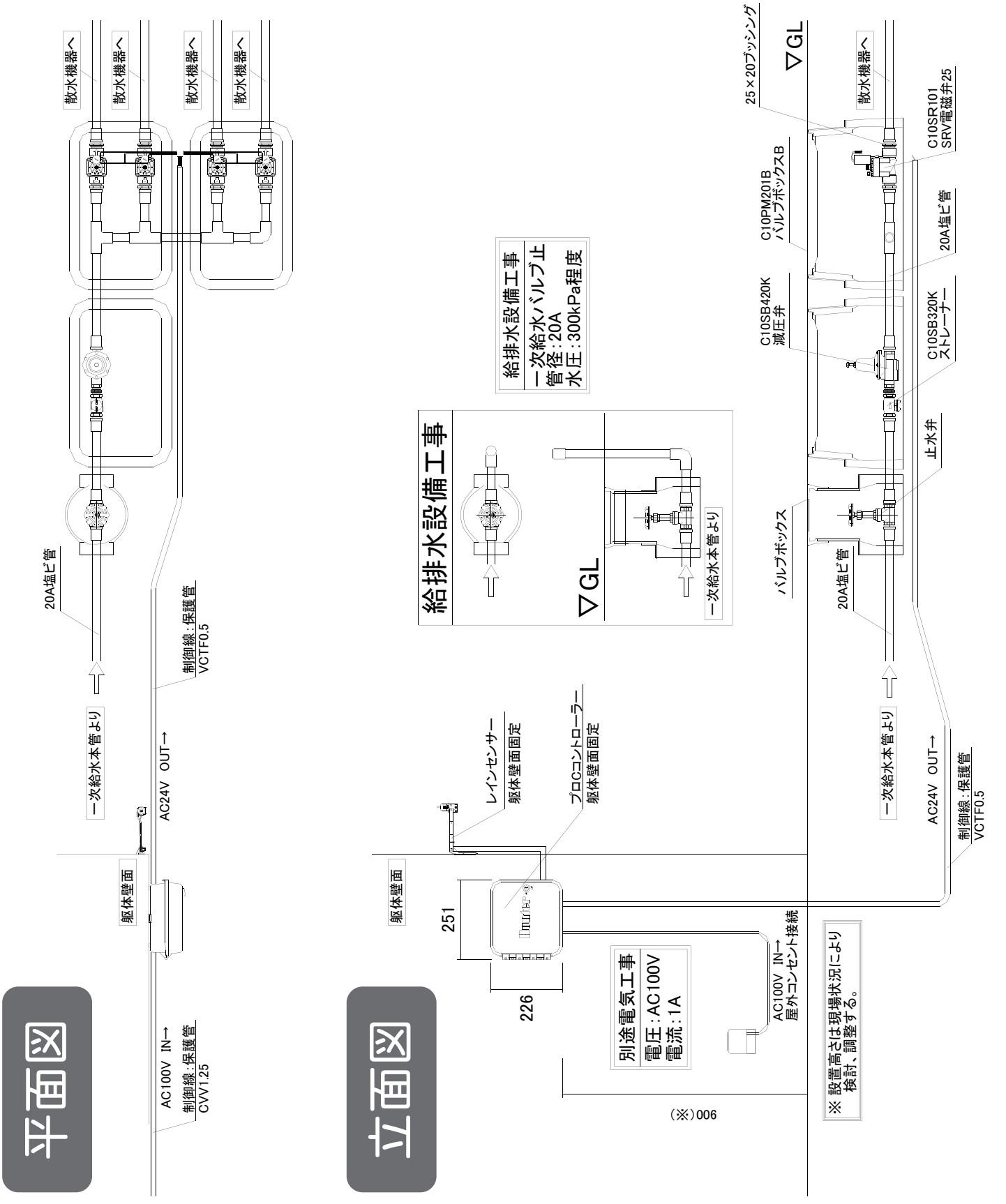
※１つのPROGRAMに付き、1系統あたりの散水時間は1回しか設定出来ません。

各プログラム	開始時刻	散水時間	曜日設定
A:プログラム	①　6:00	系統1　15分 系統2　0分 系統3　0分	毎日
	②　19:00	同上	
	③　OFF	各0分	
	④　OFF	各0分	
B:プログラム	①　7:00	系統1　0分 系統2　5分 系統3　0分	毎日
	②～④OFF	各0分	
C:プログラム	①　8:00	系統1　0分 系統2　0分 系統3　10分	毎週水曜
	②～④OFF	各0分	

※この場合、A プログラムには芝生の散水時間を入力します。B とＣの散水時間は０分にして下さい。
※Ａ，Ｂ,Ｃの設定時間が重複する場合は、A プログラムの散水が完了後にＢ,Ｃが開始されますので、入力されている開始時刻とは異なる時刻に散水を開始して完了時刻も遅れる事があります。

プロCコントローラー取り付け参考図

・図の配管口径は20A：電磁弁25Aを使用（25A×20Aブッシングアダプター）で変換
・電力はＡＣ１００Ｖがコントローラーに入力されて、内部トランスでAC24Vに変換出力します



＜保証規定＞

1. 取扱説明書、本体ラベルなどに記載された正常な使用状態で故障した場合、
保証期間中は修理または同等品の提供をさせていただきます。
2. 保証期間内であっても以下の場合は有料となります。
①取扱説明書、本体ラベルなどに記載された安全上の注意事項に反したご使用による故障及び損傷。
②火災、地震、水害、落雷、その他天災・地変・公害・異常電圧・電波障害による故障及び損傷。
③不適切な移動、落下などによる故障及び損傷。
④給水系部品及び電磁弁の凍結による故障及び損傷。
⑤各種の設定・角度変更等の調節作業、消耗部品の代金、及び交換。
⑥本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入が無い場合、または伝票番号等の記載事項が書き換えられた場合
⑦本書の提示が無い場合
3. 無償修理をご希望の場合、製品に本書を必ず添えて、ご持参またはご返送してください。
尚、その場合の交通費、送料、梱包費等はお客様のご負担となります。
4. 製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社は
その責任を負わないものとします。
5. 保証期間経過後の修理・交換は有料にて承ります。
6. 本書は日本国内のみ有効です。
7. 本書に明示した保証条件のもとで無償修理をお約束するものです。
したがって、本書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
8. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

＜メモ＞

製品保証書

本書は、本書記載の内容でお買い上げ日から規定期間内で保証する事をお約束するものです。下記にお名前、ご住所、電話番号を必ずご記入の上、故障内容を記したメモ等をつけて、製品に同封してください。保証規定については裏面をご参照ください。

＜保証期間＞
3年間

お買い上げ日　　年　　月　　日

伝票番号　No.

お客様	お名前	電話番号
	ご住所　〒	

販売店様	会社名／担当者様	電話番号
	ご住所　〒	

販売店 ご担当者様へ	本書に、お買い上げ日、販売店をご記入の上、お客様へ製品と共にお渡しください。 万が一、伝票番号の記載漏れのあった場合は下記まで、ご連絡頂きます様お願い申し上げます。

お問合せ先	**グローベン株式会社**　**電話番号 / 052-619-6788** **所在地 /〒455-0025** **名古屋市港区本星崎町字南3998-31** **受付時間 / 平日　9:00 ～ 17:30** ※祝日、夏期休暇、年末年始を除く

個人情報の取り扱いについて	ご記載頂いたお客様の個人情報はお問合せ対応に必要な範囲で使用し、弊社規定に則り厳重に保管します。 なお、個人を特定出来ない情報に関しては、サービス向上や製品開発などに利用させて頂く場合がございます。 ご記載頂いた情報に誤りがある場合、弊社からご連絡できない場合があります。ご連絡頂いた個人情報は以下の場合を除き、第三者への開示、提供を致しません、お問合せ内容の修理、対応のために弊社関連会社や販売店様へ連絡する場合、機密保持契約をした外部業者に依頼する場合、法令などにもとづく場合。